

日本消化器病学会東北支部第 201 回例会

会長 木村 理

山形大学医学部 外科学第一講座（消化器・乳腺甲状腺・一般外科学）

日時 平成 28 年 7 月 8 日（金）

会場 山形テルサ

山形県山形市双葉町 1 丁目 2-3 TEL：023-646-6677（代表）

第 1 会場 アプローチ（3 階）

第 2 会場 リハーサル室（2 階）

第 3 会場 交流室 A（3 階）

展示会場 3 階アプローチロビー

- 8 時 20 分より受付を行います。
- 総合受付は 3 階ロビー（第 1 会場アプローチ前）で行います。
- 参加費 1,000 円を頂きます。その際に参加証明証兼領収証と専門医更新単位登録票をお渡しします。
- 専門医更新単位登録票の捺印および回収は 11 時 30 分から 3 階総合受付で予定しております。
- PC 受付は 3 階アプローチロビーで行います。
- 演者は発表セッション開始 1 時間前（各会場最初のセッションは 30 分前）までに、スライドの試写、PC の動作確認をしてください。
- シンポジウムの発表時間は 5 分、質疑応答時間は 2 分です。
- 特別企画の発表時間は 5 分、質疑応答時間は 2 分です。
- 一般演題の発表時間は 4 分、質疑応答時間は 2 分です。
- 発表は時間厳守をお願いします。
- 司会・座長および特別企画の審査員の皆様には専用の受付をご用意しておりますので、当日は総合受付までお越しください。

日本消化器病学会東北支部第 201 回例会開催にあたって



日本消化器病学会東北支部第 201 回例会

会長 木村 理

山形大学医学部 外科学第一講座

(消化器・乳腺甲状腺・一般外科学)

この度、日本消化器病学会東北支部例会を山形市で開催させていただくことになり、大変光栄に存じます。本会の歴史は古く、1943 年に第 1 回が開催されてから、今回で第 201 回を数えることになりました。次の 100 回に向けての新たな第一歩をこの山形の地で開始できることは山形大学にとりまして大変な名誉なことであると同時に身の引き締まる思いでございます。

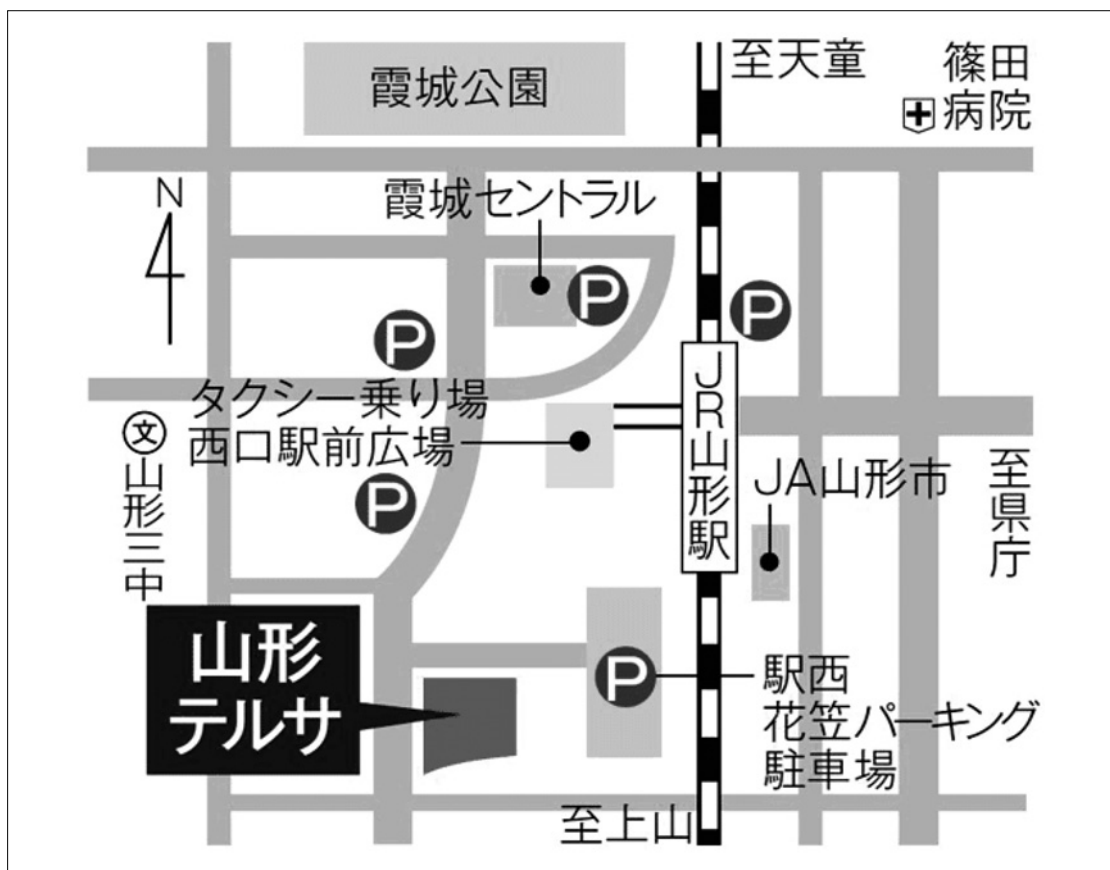
演題募集ではお蔭様で総数 109 題のご応募をいただき、皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。シンポジウムは、「消化管疾患における内科と外科のコラボレーション」とさせていただきました。まさに診断、治療におきまして内科医と外科医がこれまでに以上に緊密な連携のもと診療にあたる時代になってきております。現在の取り組みとともに、今後の展望、発展性などにつきましても議論していただければと考えているところです。

特別講演では腹腔鏡内視鏡合同手術（Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery; LECS）の発案者であるがん研有明病院 胃外科部長の比企直樹先生に「LECS の適応と限界」と題してご講演いただくことになっております。内科、外科それぞれの立場から最新の知見を得る機会にさせていただけるものと考えております。

恒例の特別企画「めざせ！消化器病専門医—初期・後期研修医からの報告」では応募多数の中から審査によって選ばれた上位の先生方にご発表いただき、優秀演題を表彰致します。新しい専門医制度が始まろうとしている中で研修医の先生方には発表を通してさらに磨きをかけていただくとともに消化器病学のおもしろさや奥深さを改めて認識する機会にさせていただければと期待しております。

7 月の山形は、かの松尾芭蕉が山寺立石寺で「閑さや岩にしみ入蟬の声」の句を詠んだ季節でもあります。是非多くの皆様にご集っていただきて実りの多い活発な例会にさせていただくとともに、初夏の山形をお楽しみいただければ大変幸いです。山形へのお越しを心よりお待ちしております。

【交通のご案内】



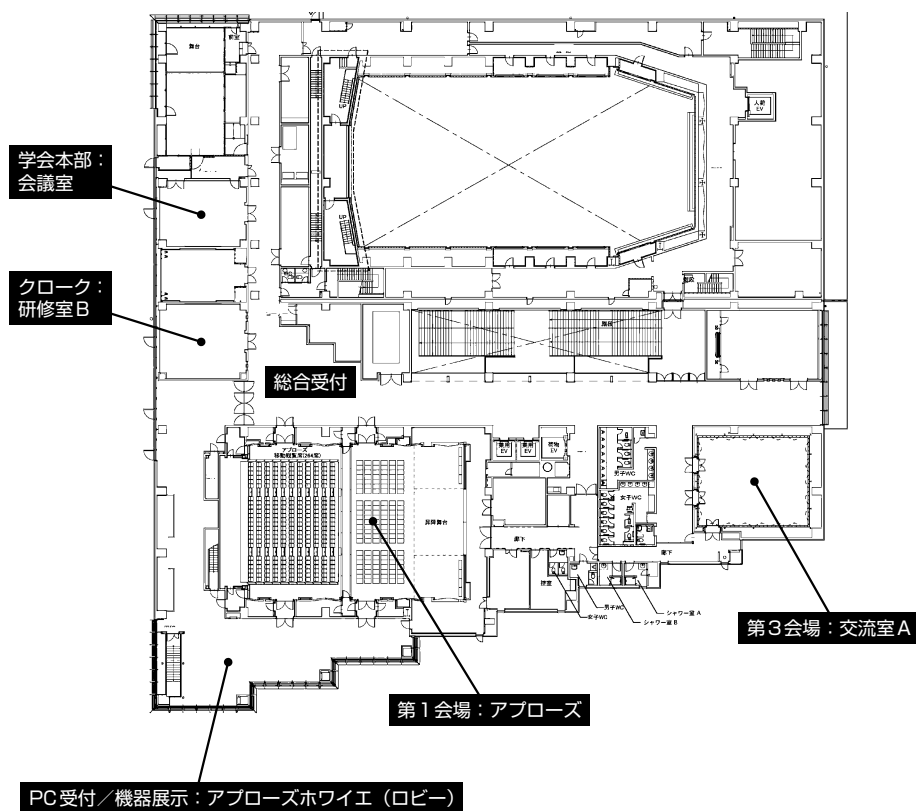
- ・ JR 山形駅より徒歩 3 分
- ・ 270 台程度の収容可能な有料駐車場がありますが、駐車台数には限りがございますので公共の交通機関もご利用くださいますよう、お願いいたします。

山形駅西花笠パーキングについて

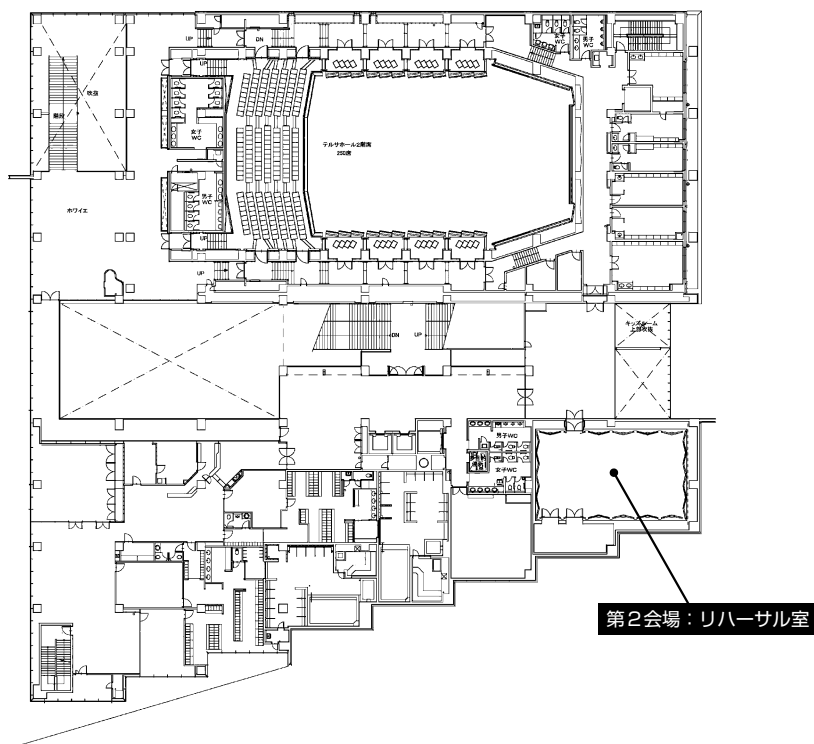
- ・ 駐車可能台数 (270 台)
- ・ ご利用時間 (24 時間)
- ・ 利用できる車両 (長さ 5.0 メートル、幅 2.0 メートル、高さ 2.1 メートル以下)
- ・ 駐車料金
- ・ 短時間駐車 (最初の 1 時間 200 円、超過 1 時間ごと 100 円)
- ・ 長時間駐車 (9～24 時間まで 1,000 円、超過 1 時間ごと 100 円)

【会場図】

3 階



2 階



発表者・参加者へのご案内

●司会・座長の皆様へ

ご担当セッションの開始 10 分前までに次座長席にお着きください。会場係はおりますが、一般演題の場合、アナウンスはございません。演者の方に発表時間の厳守をお願いします。

●発表者の皆様へ

発表形式は PC を使用したコンピュータプレゼンテーションに限ります。スライド・ビデオは使用できませんのでご注意下さい。

当日会場に用意する PC の OS は Windows7、プレゼンテーションソフトは PowerPoint2010・2013 です。(Macintosh をお使いの際には個人の PC を持参してください)

発表時、演者のお手元にある機器を使用して、ご自身でパソコンを操作していただきます。

データ持ち込み (USB もしくは CD-R に限る) ができるのは Windows のみです。データの管理上の点から、できるだけ Windows によるデータ持ち込みにご協力下さい。

〈データ作成方法・Windows の場合〉

1. プレゼンテーションソフトは PowerPoint を使用し、ウィルスチェックを行ってください。
2. 使用フォントは文字化けを防ぐため下記フォントを使用してください。
日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英 語：Century、Century Gothic、Arial、Times New Roman、Symbol
3. ファイル名は演題番号 (半角) に続けて発表者の氏名 (漢字) を必ず付けて保存してください。これ以外のファイル名にはしないでください。
演題番号は半角文字で記載 (S-01、W1-01、O-01)
シンポジウム：S
特別企画 1 (初期研修医)：W1
特別企画 2 (後期研修医)：W2
一般演題：O
氏名は必ずフルネームで記載し、名字と氏名の間はスペースを入れないでください。
4. リンクファイル (静止画・グラフ等) を使用してデータ (PowerPoint) を作成しないでください。PowerPoint のファイル一つで作成してください。
5. 動画を使用する場合、発表ファイルと同一階層に動画ファイルを保存してください。Windows7 及び Windows Media Player の初期状態で再生できる動画ファイルをお持ちください。(ファイルは WMV または MP4 形式を推奨します)
6. できるだけデータをお持ち込みください。ご自分の PC でも発表は可能ですが、その場合画面のスリープ設定やスクリーンセーバーは解除しておいてください。また、十分にバッテリーがあることをご確認ください。

【例】



S-01 東北太郎.ppt(シンポジウム)

W1-01 東北花子.ppt(特別企画 1)

〈データ作成方法・Macintosh の場合〉

1. Macintosh に関しては、各自ノートパソコンの持ち込みといたします。
2. 作成した発表ファイルはデスクトップに置いてください。また、一目でファイルの場所が分かるように、デスクトップは予め整理しておいてください。
3. Macintosh の方は、発表終了後に会場 PC ブースにてパソコンをお受け取りください。データでの受付はいたしません。

口頭発表時における 利益相反（COI）状態開示のお願い

利益相反（Conflict of interest：COI）とは、本学会が推進する医学医療の研究によって社会に還元される公的利益と産学連携等により生じる私的利益があり、このような二つの利益が学会員個人の中に生じる状態を指します。

本学会では、平成 25 年より利益相反マネジメントを完全実施しております。平成 26 年に基礎研究も対象とした「医学研究の利益相反に関する指針および細則」に改定となり、このたび、平成 28 年 1 月からは筆頭演者のみならず共同演者も含めた COI 状態をご申告頂くことが必要となりました。

つきましては、下記要領にて利益相反（COI）状態の開示をお願いいたします。

開示方法：下記様式に従い冒頭で開示すること

【具体例】

申告すべき COI 状態がある時

様式 1-A

日本消化器病学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○○○、○○○○、… (◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等として、

①顧問:	PPP薬品工業	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
②株保有・利益:	QQQ製薬	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
③特許使用料:	RRR薬品工業	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
④講演料:	SSS製薬、TTT薬品	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
⑤原稿料:	UUU薬品工業	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
⑥受託研究・共同研究費:	VVV製薬	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
⑦奨学金付金:	XXX製薬	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
⑧寄附講座所属:	YYY製薬	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)
⑨贈答品などの報酬:	ZZZ薬品工業	(※「なし」の場合は、「なし」と記載して下さい)

申告すべき COI 状態がない時

様式 1-C

日本消化器病学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○○○、○○○○、… (◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はありません。

●臨床研究の利益相反に関する指針は、日本消化器病学会のホームページをご参照ください。

http://www.jsge.or.jp/coi/shibu_coi/

プログラム

第 1 会場 3 階 アプローズ	第 2 会場 2 階 リハーサル室	第 3 会場 3 階 交流室 A
【8:45～8:50】 開会の辞		
【8:50～9:50】 特別企画 1 「目指せ！消化器病専門医 ー初期研修医からの報告」 W1-01～08	【8:50～10:15】 特別企画 2 「目指せ！消化器病専門医 ー後期研修医からの報告」 W2-01～12	
【9:50～11:25】 シンポジウム 「消化管疾患における 内科と外科のコラボレーション」	【10:15～10:45】 肝臓 1 O-09～13	【9:50～10:14】 脾臓 1 O-40～43
	【10:45～11:21】 肝臓 2 O-14～19	【10:14～10:44】 脾臓 2 O-44～48
		【10:44～11:14】 脾臓 3 O-49～53
【11:30～11:45】 会長講演		
【11:50～12:20】 評議員会		
【12:30～13:20】 ランチョンセミナー 1 「大腸がん薬物療法の最新の 治療戦略」	【12:30～13:20】 ランチョンセミナー 2 消化器領域の低侵襲手術 ー新しいデバイスの有用性ー	
【13:30～14:20】 特別講演 「LECS の適応と限界」		
【14:30～16:00】 第 10 回専門医セミナー	【14:30～15:00】 食道・胃 O-20～24	【14:30～14:54】 肝臓 3 O-54～57
	【15:00～15:36】 胃 O25～30	【14:54～15:30】 腹膜・その他 O-58～63
	【15:36～16:06】 小腸 1 O31～35	【15:30～15:54】 大腸 1 O-64～67
【16:00～16:24】 胆道 1 O-01～04	【16:06～16:30】 小腸 2 O36～39	【15:54～16:24】 大腸 2 O-68～72
【16:24～16:48】 胆道 2 O-05～08		【16:24～16:48】 大腸 3 O-73～76
【16:50～16:55】 閉会の辞		

司会・座長・審査員一覧

会 場	セッション	演題番号	時 間	司 会 ・ 座 長 ・ 審 査 員	
第 1 会場 (3 階アブ ロース)	特別企画 1 (初期研修医)	W1-01～08	8:50- 9:50	福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内 科学講座	大平 弘正
				山形大学医学部 内科学第二講座	上野 義之
	審査員			弘前大学医学部附属病院 光学医療診療部	三上 達也
	審査員			秋田赤十字病院 消化器外科	宮澤 秀彰
	審査員			岩手医科大学 消化器内科 肝臓分野	遠藤 龍人
	審査員			東北大学 生体調節外科	内藤 剛
	シンポジウム	S-01～13	9:50-11:25	福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部	引地 拓人
				山形県立中央病院 外科	野村 尚
	会長講演		11:30-11:45	福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内 科学講座	大平 弘正
	ランチョンセミナー 1		12:30-13:20	福島県立医科大学会津医療センター 小腸・大 腸・肛門科学講座	遠藤 俊吾
	特別講演		13:30-14:20	山形大学医学部 外科学第一講座	木村 理
	第 10 回専門医セミナー ミニレクチャー 症例検討		14:30-15:00 15:00-16:00	山形大学医学部 内科学第二講座 山形大学医学部 内科学第二講座	牧野 直彦 牧野 直彦
			福島県立医科大学会津医療センター 消化器内 科学講座	入澤 篤志	
胆道 1	O-01～04	16:00-16:24	福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内 科学講座	高木 忠之	
胆道 2	O-05～08	16:24-16:48	東北大学 消化器外科学	元井 冬彦	
第 2 会場 (2 階リハ ーサル室)	特別企画 2 (後期研修医)	W2-01～12	8:50-10:15	弘前大学大学院 消化器血液内科学講座	福田 眞作
				東北大学 消化器外科学	海野 倫明
	審査員			秋田大学 消化器内科	松橋 保
	審査員			岩手医科大学 外科	新田 浩幸
	審査員			山形大学医学部 内科学第二講座	牧野 直彦
	審査員			福島県立医科大学 器官制御外科学講座	大木 進司
	肝臓 1	O-09～13	10:15-10:45	秋田大学 第一内科	後藤 隆
	肝臓 2	O-14～19	10:45-11:21	山形大学医学部 内科学第二講座	奥本 和夫
	ランチョンセミナー 2		12:30-13:20	福島労災病院 外科	武藤 淳
	食道・胃	O-20～24	14:30-15:00	東北大学大学院医学系研究科 先進外科学分野	中野 徹
	胃	O-25～30	15:00-15:36	山形大学医学部 内科学第二講座	阿部 靖彦
	小腸 1	O-31～35	15:36-16:06	岩手医科大学 消化器内科 消化管分野	川崎 啓祐
小腸 2	O-36～39	16:06-16:30	弘前大学大学院 消化器血液内科学講座	珍田 大輔	
第 3 会場 (3 階交流 室 A)	脾臓 1	O-40～43	9:50-10:14	山形県立中央病院 消化器内科	白幡名香雄
	脾臓 2	O-44～48	10:14-10:44	公立置賜総合病院 外科	竹下 明子
	脾臓 3	O-49～53	10:44-11:14	東北大学 消化器内科	菅野 敦
	肝臓 3	O-54～57	14:30-14:54	秋田大学大学院医学系研究科 消化器外科学講 座	打波 宇
	腹膜・その他	O-58～63	14:54-15:30	山形済生病院 外科	磯部 秀樹
	大腸 1	O-64～67	15:30-15:54	岩手県立中央病院 消化器内科	池端 敦
	大腸 2	O-68～72	15:54-16:24	山形大学医学部 外科学第一講座	矢野 充泰
	大腸 3	O-73～76	16:24-16:48	山形市立病院済生館 消化器内科	名木野 匡

日本消化器病学会東北支部

第 10 回専門医セミナーのお知らせ

日 程：平成 28 年 7 月 8 日（金） 14:30 ～ 16:00
場 所：山形テルサ 3 階アプロース

【ミニレクチャー】 14:30 ～ 15:00

「IPMN の悪性度診断について」

司会 牧野 直彦（山形大学医学部 内科学第二講座）
講師 柿崎 泰明（山形大学医学部 内科学第二講座）

【症例検討】 15:00 ～ 16:00

「興味ある経過をたどった IPMN 症例」

司会 牧野 直彦（山形大学医学部 内科学第二講座）
入澤 篤志（福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科学講座）

症例 1 : 紺野 直紀（福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座）

症例 2 : 梅邑 晃（岩手医科大学 外科）

症例 3 : 水間 正道（東北大学 消化器外科学）

※専門医セミナー単位登録票・参加証明書の発行について

セミナー開始前に総合受付にて参加証明書と単位登録票を配布、セミナー終了後に単位登録票に捺印いたします

シンポジウム

第1会場（3階 アプローズ） <9:50～11:25>

「消化管疾患における内科と外科のコラボレーション」

司会 引地 拓人（福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部）

野村 尚（山形県立中央病院 外科）

S-01 当院におけるコラボレーションと内科側の LECS の工夫

日本海総合病院 治療内視鏡科¹⁾

日本海総合病院 外科²⁾

日本海総合病院 消化器内科³⁾

○本間 清明¹⁾、橋爪 英二²⁾、鈴木 義広²⁾

S-02 噴門部の病変への LECS—消化器内科医と外科医が連携し漿膜面へのクリッピングと針状メスでの焼灼マーキングをおくことで過不足なく切除しえた神経内分泌腫瘍の1例—

本荘第一病院 消化器センター

○加藤 健、板垣 秀弥、廣嶋 優子、齊藤 孝、柴田 聡、水口 直樹、鈴木 克彦

S-03 当院における腹腔鏡下胃 GIS 切除術症例の検討

岩手県立久慈病院 外科¹⁾

岩手県立久慈病院 消化器科²⁾

岩手県立中央病院 内視鏡科³⁾

岩手医科大学 外科学講座⁴⁾

○遠野 千尋¹⁾、大崎 洸¹⁾、藤井 仁志¹⁾、高橋 正統¹⁾、皆川 幸洋¹⁾、佐々木 裕²⁾、小玉 祐²⁾、安部 圭之輔²⁾、織笠 俊輔²⁾、鈴木 年竜²⁾、赤坂 威一郎³⁾、佐々木 章⁴⁾、吉田 徹¹⁾

S-04 当院における LECS の成績・課題

山形県立中央病院 外科¹⁾

山形県立中央病院 消化器内科²⁾

○野村 尚¹⁾、石山 廣志朗¹⁾、藤嶋 昌一郎²⁾、川越 圭²⁾、福島 紀雅¹⁾、飯澤 肇¹⁾

S-05 当院における胃粘膜下腫瘍に対する LECS の6例（従来法との比較）

仙台市医療センター仙台オープン病院 消化器外科・一般外科¹⁾

仙台市医療センター仙台オープン病院 消化器内科²⁾

○小山 淳¹⁾、平澤 大²⁾、土屋 誉¹⁾、本多 博¹⁾、及川 昌也¹⁾、柿田 徹也¹⁾、岡田 恭穂¹⁾、大石 英和¹⁾、矢澤 貴¹⁾、赤澤 直也¹⁾、小林 実¹⁾、吉沢 あゆは¹⁾、市川 英孝¹⁾、坪井 基浩¹⁾、安藤 涼平¹⁾、須田 睦¹⁾、則内 友博¹⁾、中島 康介¹⁾

S-06 胃 GIST に対する腹腔鏡下胃局所切除術～LECS vs Conventional～

東北大学病院 消化器外科学

○青木 豪、武者 宏昭、唐澤 秀明、元井 冬彦、内藤 剛、海野 倫明

S-07 当院における胃 GIST に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 (LECS) の治療成績と困難症例に対する工夫

福島県立医科大学医学部 器官制御外科学講座¹⁾

福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部²⁾

福島県立医科大学医学部 消化器リウマチ膠原病内科学講座³⁾

○門馬 智之¹⁾、大木 進司¹⁾、藁谷 雄一^{2,3)}、菊地 眸^{2,3)}、中村 純^{2,3)}、
渡辺 晃^{2,3)}、引地 拓人²⁾、河野 浩二¹⁾、竹之下 誠¹⁾

S-08 胃 GIST に対する reduced port による LECS の治療成績

岩手医科大学 外科学講座¹⁾

岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野²⁾

○馬場 誠朗¹⁾、佐々木 章¹⁾、肥田 圭介¹⁾、鳥谷 洋右²⁾、赤坂 理三郎²⁾、
高原 武志¹⁾、秋山 有史¹⁾、岩谷 岳¹⁾、西塚 哲¹⁾、大塚 幸喜¹⁾、
新田 浩幸¹⁾、水野 大¹⁾、松本 主之²⁾

S-09 胃粘膜下腫瘍に対する術式選択～当院における胃内手術の経験～

竹田綜合病院 外科

○齊藤 亮、絹田 俊爾、林 嗣博、佐藤 和磨、松岡 宏一、今泉 潤、
後藤 悠大、滝口 光一、竹村 真生子、平井 優、岡崎 護、輿石 直樹、
木嶋 泰興

S-10 胃疾患における内科と外科のコラボレーション—腹腔鏡下胃切除術における術中内視鏡の有用性—

山形大学医学部 消化器・乳腺甲状腺・一般外科

○佐藤 多未笑、蜂谷 修、高須 直樹、外田 慎、山岸 岳人、福元 剛、
矢野 充泰、木村 理

S-11 当科における外科チームとのコラボレーション ～上部消化管穿孔～

岩手医科大学 救急医学災害医学講座

○菊池 哲、藤野 靖久、小野寺 誠、井上 義博

S-12 大腸癌診療における内科医、外科医、放射線科医、そして病理医の collaboration

福島県立医科大学 会津医療センター 小腸大腸肛門科¹⁾

福島県立医科大学 会津医療センター 病理診断科²⁾

○愛澤 正人¹⁾、根本 大樹¹⁾、歌野 健一¹⁾、五十畑 則之¹⁾、隈元 謙介¹⁾、
遠藤 俊吾¹⁾、北條 洋²⁾、富樫 一智¹⁾

S-13 Bridge to surgery としての大腸ステントの有用性に対する検討

むつ総合病院 消化器内科¹⁾

青森県立中央病院 消化器内科²⁾

弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座³⁾

○高橋 一徳¹⁾、花畑 憲洋^{2,3)}、棟方 正樹^{2,3)}、福田 眞作³⁾

特別企画 1

第 1 会場 (3 階 アプローチ) <8:50~9:50>

「目指せ！ 消化器病専門医—初期研修医からの報告」

司会 大平 弘正 (福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座)

上野 義之 (山形大学医学部 内科学第二講座)

W1-01 プロテイン C・プロテイン S 低下を認めた非閉塞性腸管虚血の 1 例

鶴岡市立荘内病院 初期臨床研修医¹⁾

鶴岡市立荘内病院 外科²⁾

鶴岡市立荘内病院 小児外科³⁾

○斎藤 浩一¹⁾、坂本 薫²⁾、早坂 一希²⁾、中橋 健太²⁾、水木 亨²⁾、
白井 賢司²⁾、八木 寛²⁾、大滝 雅博³⁾、白幡 康弘²⁾、鈴木 聡²⁾

W1-02 腫瘍性病変と鑑別を要した肝副葉の 1 例

山形市立病院済生館 臨床研修センター¹⁾

山形市立病院済生館 消化器内科²⁾

山形市立病院済生館 病理診断科³⁾

○佐々木 仁¹⁾、遠藤 博之²⁾、枡 悠太郎²⁾、名木野 匡²⁾、西瀬 雄子²⁾、
黒木 実智雄²⁾、平川 秀紀²⁾、大竹 浩也³⁾

W1-03 糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) を契機に発症した急性食道粘膜病変 (AEML) の 1 例

福島赤十字病院 内科・消化器内科¹⁾

福島赤十字病院 糖尿病・代謝内科²⁾

○猪狩 剛¹⁾、黒田 聖仁¹⁾、加藤 恒孝¹⁾、菅野 有紀子¹⁾、寺島 久美子¹⁾、
宮田 昌之¹⁾、佐藤 義憲²⁾

W1-04 病原性大腸菌 O-157 感染による大腸穿孔の 1 例

青森県立中央病院 消化器内科¹⁾

弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座²⁾

○鈴木 友香理¹⁾、花畑 憲洋^{1,2)}、五十嵐 昌平^{1,2)}、蓮井 桂介^{1,2)}、
島谷 孝司^{1,2)}、金澤 浩介¹⁾、沼尾 宏¹⁾、棟方 正樹¹⁾、福田 眞作²⁾

W1-05 肝移植後の肝門部拳上空腸静脈瘤出血に対しコイル塞栓術で止血しえた 1 例

市立秋田総合病院 消化器内科

○岡部 基成、辻 剛俊、伊藤 満衣、渡邊 健太、大野 秀雄、石井 元、
津田 聡子、中根 邦夫、千葉 満郎、小松 眞史

W1-06 著明な肝脾腫と難治性腹水を呈した POEMS 症候群の 1 例

山形大学医学部 内科学第二（消化器内科）講座

○野澤 瞳、奥本 和夫、仁科 武人、勝見 智大、水野 恵、芳賀 弘明、
齋藤 貴史、上野 義之

W1-07 IVC を圧排して側副血行路の発達をきたした巨大肝嚢胞の 1 例

石巻赤十字病院 消化器内科

○福長 健史、赤羽 武弘、岩田 朋晃、前嶋 隆平、山本 康央、海野 純、
富永 現

W1-08 多発性肝膿瘍と門脈血行異常に併発した出血性胃潰瘍の 1 例

仙台赤十字病院 消化器内科

○小野 祥直、大森 信弥、Badran Adel、矢口 圭、大楽 尚弘、菅野 厚

特別企画 2

第2会場（2階 リハーサル室） <8:50~10:15>

「目指せ！消化器病専門医—後期研修医からの報告」

司会 福田 眞作（弘前大学大学院 消化器血液内科学講座）

海野 倫明（東北大学 消化器外科学）

W2-01 難治性胃潰瘍を契機に診断された好酸球性胃腸炎の一例

秋田大学大学院医学系研究科 消化管内科

○福田 翔、小野地 研吾、菅原 佳恵、沢口 昌亨、下平 陽介、
小泉 重仁、志賀 永嗣、大場 麗菜、畠山 夏美、松橋 保、
神 万里夫、飯島 克則

W2-02 特徴的な肝 MRI 所見が診断の契機となった Epstein-Barr Virus 関連血球貪食症候群の1例

国立病院機構 弘前病院 消化器・血液内科

○立田 卓登、石黒 陽、秋元 直樹、佐竹 立、鎌田 耕輔、松木 明彦、
佐藤 年信

W2-03 保存的加療で退縮傾向を示した肝副葉茎捻転疑いの1例

公立置賜総合病院 消化器内科

○梅原 松樹、堀内 素平、武田 忠、角田 道彦、赤松 学、佐藤 英之、
高野 潤、大村 清成、渡辺 晋一郎、齋藤 孝治

W2-04 術後病理検査により診断された胆嚢原発神経内分泌腫瘍の2切除例

岩手県立中央病院 消化器科¹⁾

岩手県立中央病院 内視鏡科²⁾

岩手県立中央病院 病理診断科³⁾

○佐藤 利紀¹⁾、渡邊 崇¹⁾、高橋 隆宏¹⁾、高橋 太郎¹⁾、伏谷 淳¹⁾、
城戸 治¹⁾、池端 敦¹⁾、本多 俊介²⁾、天野 良彦²⁾、小坂 崇²⁾、
赤坂 威一郎²⁾、小野 貞英³⁾

W2-05 生物学的製剤変更により腸管症状と関節症状が改善した末梢関節炎併発潰瘍性大腸炎の1例

みやぎ県南中核病院

○鈴木 郁、梅村 賢、下田 楓美子、田中 裕、木村 修、阿曾沼 祥、
佐藤 晃彦

W2-06 低蛋白血症を契機に発見された2型腸管関連T細胞リンパ腫の一例

福島県立医科大学医学部 消化器・リウマチ膠原病内科¹⁾
福島県立医科大学 内視鏡診療部²⁾

○綿引 優¹⁾、藤原 達雄¹⁾、片倉 響子¹⁾、郡司 直彦¹⁾、横川 綾希¹⁾、
川島 一公¹⁾、引地 拓人²⁾、大平 弘正¹⁾

W2-07 直腸狭窄をきたし、腸管子宮内膜症の癌化による子宮内膜腺癌が疑われた1例

山形市立病院済生館 消化器内科¹⁾
山形市立病院済生館 病理診断科²⁾

○伊藤 南¹⁾、遠藤 博之¹⁾、枡 悠太郎¹⁾、名木野 匡¹⁾、西瀬 雄子¹⁾、
黒木 実智雄¹⁾、平川 秀紀¹⁾、大竹 浩也²⁾

W2-08 Modified FOLFIRINOX が奏効した膵 acinar cell carcinoma の一例

福島労災病院 消化器科¹⁾
福島労災病院 病理診断科²⁾

○橋本 陽¹⁾、鈴木 智浩¹⁾、大久保 義徳¹⁾、高橋 伸太郎¹⁾、喜田 栄作¹⁾、
松橋 暢生¹⁾、市井 統¹⁾、田井 真弓¹⁾、江尻 豊¹⁾、箱崎 半道²⁾

W2-09 当院におけるボノプラザンとランソプラゾールの Helicobacter pylori 除菌療法の治療成績

仙台厚生病院 消化器内科

○川村 恵太、奥蘭 徹、福田 遼、富樫 純一、友兼 正太郎、
坪井 瑠美子、田中 一平、橋本 林太郎、岩城 智之、二瓶 公佑、
今村 仁、山岡 肇、松田 和己、中堀 昌人、長南 明道

W2-10 H.pylori 感染胃炎の二次除菌で発症した抗生物質起因性出血性大腸炎の一例

市立秋田総合病院 消化器内科¹⁾
市立秋田総合病院 病理診断科²⁾

○渡邊 健太¹⁾、辻 剛俊¹⁾、伊藤 満衣¹⁾、津田 聡子¹⁾、石井 元¹⁾、
大野 秀雄¹⁾、中根 邦夫¹⁾、千葉 満郎¹⁾、小松 眞史¹⁾、提嶋 眞人²⁾

W2-11 血友病合併のC型非代償性肝硬変に対して脳死肝移植を施行し、血友病の治療過程を観察した一例

岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科肝臓分野¹⁾
岩手医科大学医学部 外科学講座²⁾

○岡田 洋平¹⁾、鈴木 悠地¹⁾、柿坂 啓介¹⁾、宮本 康弘¹⁾、阿部 珠美¹⁾、
滝川 康裕¹⁾、長谷川 康²⁾、高原 武志²⁾、新田 浩幸²⁾、佐々木 章²⁾

W2-12 IgG4 陰性自己免疫性膵炎の経過中に出現した肝偽腫瘍の1例

東北大学大学院 消化器病態学分野¹⁾
東北大学病院 病理部²⁾

○鍋島 立秀¹⁾、菅野 敦¹⁾、正宗 淳¹⁾、小暮 高之¹⁾、井上 淳¹⁾、
本郷 星仁¹⁾、吉田 直樹¹⁾、中野 絵里子¹⁾、三浦 晋¹⁾、濱田 晋¹⁾、
桑 潔¹⁾、菊田 和宏¹⁾、廣田 衛久¹⁾、藤島 史喜²⁾、下瀬川 徹¹⁾

一般演題

第1会場（3階 アプローズ）

胆道1 16:00～16:24

座長 高木 忠之(福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座)

O-01 PSC-AIH オーバーラップ症候群が疑われる1例

弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座

○五十嵐 剛、遠藤 哲、佐竹 立、澤田 直也、佐藤 研、三上 健一郎、
福田 眞作

O-02 胆道感染症に門脈本幹～肝内全門脈枝に及ぶ広範囲な門脈血栓症を合併した一例

国立病院機構 仙台医療センター

○是川 海、滝川 哲也、木村 憲治、鶴飼 克明

O-03 術後再建腸管の悪性胆道狭窄に対して EUS-BD が有効であった2症例

仙台市医療センター 仙台オープン病院 消化器内科

○長谷川 翔、枡 かおり、伊藤 啓、越田 真介、菅野 良秀、
小川 貴央、楠瀬 寛顕、酒井 利隆、征木 喜晴、村林 桃土、
小堺 史郷、野田 裕

O-04 胆管炎のコントロールが困難な肝門部領域胆管癌に対する超音波内視鏡下ドレナージの有用性

仙台市医療センター 仙台オープン病院 消化器内科

○菅野 良秀、越田 真介、小川 貴央、枡 かおり、小堺 史郷、
楠瀬 寛顕、酒井 利隆、征木 喜晴、村林 桃土、長谷川 翔、野田 裕、
伊藤 啓

一般演題

第1会場 (3階 アプローズ)

胆道2 16:24~16:48

座長 元井 冬彦 (東北大学 消化器外科学)

O-05 血管塞栓術で止血しえた胆嚢仮性動脈瘤破裂の一例

鶴岡市立荘内病院 消化器科¹⁾

公立置賜総合病院 放射線科²⁾

公立置賜総合病院 消化器内科³⁾

○小野里 祐介¹⁾、伊東 一志²⁾、影山 咲子²⁾、梅原 松樹³⁾、堀内 素平³⁾、
佐藤 英之³⁾、高野 潤³⁾、大村 清成³⁾、武田 忠³⁾、渡辺 晋一郎³⁾、
齋藤 孝治³⁾

O-06 胆管ステント留置後に肝動脈胆管穿破を来たしIVRで救命し得た一例

福島労災病院 消化器内科¹⁾

福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科²⁾

○大久保 義徳¹⁾、鈴木 智浩¹⁾、入江 大樹¹⁾、小屋 有代¹⁾、喜田 栄作¹⁾、
松橋 暢夫¹⁾、市井 統¹⁾、田井 真弓¹⁾、江尻 豊¹⁾

O-07 術前診断し経過を追えた胆嚢捻転症の1例

岩手県立中央病院 内視鏡科¹⁾

岩手県立中央病院 消化器科²⁾

○山田 峻¹⁾、本多 俊介¹⁾、天野 良彦¹⁾、小坂 崇¹⁾、赤坂 威一郎¹⁾、
東本 郁²⁾、瀬川 雄一郎²⁾、高橋 隆宏²⁾、佐藤 利紀²⁾、高橋 太郎²⁾、
渡邊 崇²⁾、伏谷 淳²⁾、城戸 治²⁾、池端 敦²⁾

O-08 放射線化学療法が奏功した進行・再発肝内胆管癌3例

山形大学医学部 外科学第一講座

○渡邊 利広、高橋 良輔、菅原 秀一郎、手塚 康二、平井 一郎、
木村 理

一般演題

第2会場（2階 リハーサル室）

肝臓1 10:15～10:45

座長 後藤 隆（秋田大学 第一内科）

O-09 肝静脈閉塞症（VOD）が疑われた薬剤性肝障害の1例

国立病院機構 仙台医療センター 消化器内科¹⁾

国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科²⁾

○半田 智之¹⁾、真野 浩¹⁾、田邊 暢一¹⁾、鶴飼 克明¹⁾、櫻田 潤子²⁾、
鈴木 博義²⁾、田所 慶一¹⁾

O-10 高度肝内胆汁うっ滞を呈したB型急性肝炎 genotypeA の1例

いわき市立総合磐城共立病院 消化器内科

○齋藤 悠、高橋 成一、駒澤 大輔、伊藤 広通、土佐 正規、宇野 要、
池田 智之、池谷 伸一、中山 晴夫

O-11 経過中に慢性骨髄性白血病を合併し、抗悪性腫瘍薬とインターフェロンフリー療法を併用したC型慢性肝炎の一例

山形県立中央病院

○佐藤 裕人、鈴木 克典、榎本 愛美、竹内 章夫、堺 貴之、渡辺 舞、
菅原 心平、伊藤 美保、川越 圭、藤嶋 昌一郎、白幡 名香雄、
武田 弘明

O-12 急性肝不全を来たしウイルス排除遅延のためリバビリンを使用した急性E型肝炎の一例

みやぎ県南中核病院 消化器内科

○佐々木 貴裕、木村 修、下田 楓美子、田中 裕、鈴木 郁、
阿曽沼 祥、梅村 賢、佐藤 晃彦

O-13 ツツガムシ抗体IgMが偽陽性となった自己免疫性肝炎の1例

山形大学医学部 消化器内科

○水野 恵、奥本 和夫、仁科 武人、勝見 智大、芳賀 弘明、
齋藤 貴史、上野 義之

一般演題

第2会場（2階 リハーサル室）

肝臓2 10:45～11:21

座長 奥本 和夫（山形大学医学部 内科学第二講座）

O-14 当科におけるダクラタスビル（DCV）＋アスナプレビル（ASV）併用療法の使用成績

黒石市国民健康保険黒石病院 内科¹⁾

弘前大学医学部 消化器血液膠原病内科²⁾

○三上 貴史¹⁾、吉田 健太²⁾、佐藤 裕紀¹⁾、小山 隆男²⁾、齋藤 太郎¹⁾、
相馬 悌¹⁾

O-15 当院における Daclatasvir＋Asnaprevir 併用療法の治療効果と問題点

石巻赤十字病院 消化器内科

○赤羽 武弘、岩田 朋晃、前嶋 隆平、山本 康央、海野 純、
富永 現

O-16 ダクラタスビル（DCV）・アスナプレビル（ASV）による治療中に食道静脈瘤破裂をきたしたもののSVRとなったC型肝炎の1例

大曲厚生医療センター 消化器科¹⁾

東北大学 消化器内科²⁾

○古山 和樹¹⁾、堀井 亨¹⁾、沖口 将夫¹⁾、三浦 雅人¹⁾、乗田 一明²⁾

O-17 長期間ステロイド投与後にエスケープ変異株によるHBV再活性化が生じた既往感染の1例

東北大学大学院 医学系研究科 消化器病態学分野

○中村 琢也、井上 淳、小暮 高之、嘉数 英二、二宮 匡史、
梅津 輝行、高井 智、下瀬川 徹

O-18 著明な血小板低下を認めたアルコール性肝不全の1例

福島県立医科大学附属病院 消化器・リウマチ膠原病内科

○藤田 将史、林 学、岡井 研、阿部 和道、高橋 敦史、大平 弘正

O-19 ビリルビン吸着療法が有効であった胆管消失症候群を発症したC型肝炎の一例

石巻赤十字病院 外科¹⁾

石巻赤十字病院 消化器内科²⁾

ロンドンクイーンメリー大学 神経胃腸内科³⁾

○工藤 渉¹⁾、赤羽 武弘²⁾、岩田 朋晃²⁾、前嶋 隆平²⁾、山本 康央²⁾、
海野 純²⁾、富永 現²⁾、中川 健一郎³⁾

一般演題

第2会場（2階 リハーサル室）

食道・胃 14:30～15:00

座長 中野 徹（東北大学大学院医学系研究科 先進外科学分野）

O-20 びまん性食道痙攣が疑われ Ca 拮抗薬が有効であった 1 例

青森市民病院 消化器内科¹⁾

弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座²⁾

○浅利 享¹⁾、吉村 徹郎^{1,2)}、荒木 康光^{1,2)}、菊池 公二¹⁾、和田 豊人¹⁾、
福田 眞作²⁾

O-21 難治性逆流性食道炎に対する良性食道狭窄に対して胸腔鏡下食道亜全摘術を施行した一例

山形大学医学部 第一外科

○高須 直樹、蜂谷 修、佐藤 多未笑、山岸 岳人、外田 慎、
平井 一郎、木村 理

O-22 食道癌化学放射線療法後の遺残、再発に対するサルベージ ESD の治療成績の検討

東北大学 先進外科¹⁾

東北大学 腫瘍外科²⁾

○櫻井 直¹⁾、亀井 尚¹⁾、中野 徹¹⁾、瓶子 隆弘¹⁾、武山 大輔¹⁾、
佐藤 千晃¹⁾、久保田 洋介¹⁾、神谷 蔵人¹⁾、小関 健¹⁾、大内 憲明²⁾

O-23 G-CSF 産生胃癌の一例

山形大学医学部附属病院 内科学第二（消化器内科学）講座¹⁾

小国町立病院²⁾

○八木 周¹⁾、中村 秀平¹⁾、東海林 正邦¹⁾、作田 和裕¹⁾、矢尾板 孝夫¹⁾、
吉澤 和哉¹⁾、岩野 大輔¹⁾、佐々木 悠¹⁾、阿部 靖彦¹⁾、西瀬 祥一¹⁾、
西塚 麻代²⁾、阿部 吉弘²⁾、上野 義之¹⁾

O-24 血清 ALP 高値で診断された胃癌術後の骨及び骨髄転移の 1 例

青森厚生病院 外科¹⁾

青森市民病院 外科²⁾

青森市民病院 消化器内科³⁾

○渡辺 伸和¹⁾、遠藤 正章²⁾、川崎 仁司²⁾、和田 豊人³⁾、吉村 徹郎³⁾、
菊池 公二³⁾、荒木 康光³⁾、浅利 享³⁾

一般演題

第2会場（2階 リハーサル室）

胃 15:00～15:36

座長 阿部 靖彦（山形大学医学部 内科学第二講座）

O-25 簡単な消化管アニサキス症の治療法

大島医院

○山本 馨

O-26 当科におけるボノプラザンによる H. pylori 除菌治療成績

竹田綜合病院 消化器科

○友田 博行、片桐 智子、角田 卓哉、若林 博人

O-27 既存PPIでの除菌不成功例に対するボノプラザンを用いた除菌治療の成績

山形大学医学部附属病院 内科学第二（消化器内科学）講座¹⁾

山形大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾

○東海林 正邦¹⁾、吉澤 和哉¹⁾、阿部 靖彦¹⁾、佐々木 悠¹⁾、岩野 大輔¹⁾、
矢尾板 孝夫²⁾、八木 周¹⁾、作田 和裕¹⁾、中村 秀平¹⁾、西瀬 祥一¹⁾、
上野 義之¹⁾

O-28 80歳以上の高齢者における消化性潰瘍の特徴：H. pylori 陰性潰瘍の重要性

東北大学病院 消化器内科¹⁾

大崎市民病院 消化器内科²⁾

山形大学病院 消化器内科³⁾

みやぎ県南中核病院 消化器内科⁴⁾

○高橋 貴一¹⁾、菅野 武¹⁾、八田 和久¹⁾、荒 誠之¹⁾、浅沼 清孝¹⁾、
浅野 直喜¹⁾、小池 智幸¹⁾、今谷 晃¹⁾、伊藤 博敬²⁾、大矢内 幹²⁾、
阿部 晴彦³⁾、阿曾沼 祥⁴⁾、下瀬川 徹¹⁾

O-29 早期胃癌と粘膜下腫瘍の合併症例に対し腹腔鏡内視鏡合同手術と腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行した1例

福島県立医科大学医学部 臓器再生外科学講座¹⁾

福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部²⁾

福島県立医科大学医学部 消化器・リウマチ膠原病内科学講座³⁾

○遠藤 久仁¹⁾、佐瀬 善一郎¹⁾、引地 拓人²⁾、金田 晃尚¹⁾、中村 純³⁾、
渡辺 晃²⁾、菊地 眸³⁾、藁谷 雄一²⁾、渡邊 晶之¹⁾、菊池 智宏¹⁾、
多田 武志¹⁾、花山 寛之¹⁾、大須賀 文彦¹⁾、大平 弘正³⁾、後藤 満一¹⁾

O-30 胃粘膜下腫瘍に対し当院で施行した腹腔鏡内視鏡合同手術(LECS) 4例の検討

日本海総合病院 外科

○高橋 宏和、陳 正浩、安次富 裕哉、高屋 快、村山 最二郎、
橋爪 英二

一般演題

第2会場 (2階 リハーサル室)

小腸1 15:36~16:06

座長 川崎 啓祐 (岩手医科大学 消化器内科 消化管分野)

O-31 慢性の経過をたどり内視鏡的な食物残渣除去が奏功した十二指腸憩室炎の1例

福島赤十字病院 内科・消化器内科

○天海 一明、菅野 有紀子、加藤 恒孝、黒田 聖仁、寺島 久美子、
宮田 昌之

O-32 著明な高CK血症と敗血症性ショックをきたした Edwardsiella tarda 腸炎の一例

仙台市立病院 消化器内科

○矢野 恒太、野村 栄樹、菊地 達也、尾形 洋平、松本 諒太郎、
齋藤 瑛里、鈴木 範明、長崎 太、川村 昌司、境 吉孝

O-33 高圧酸素療法が有効であった急性腸炎による門脈ガス血症の一例

東北大学 消化器外科学

○相澤 卓、工藤 克昌、前田 晋平、土屋 堯裕、井本 博文、
唐澤 秀明、青木 豪、渡辺 和宏、田中 直樹、長尾 宗紀、
阿部 友哉、大沼 忍、武者 宏昭、元井 冬彦、内藤 剛、
海野 倫明

O-34 Free air を伴う特発性腸管気腫症を短期間で繰り返した1症例

三友堂病院 外科¹⁾

三友堂病院 内科²⁾

○長谷川 繁生¹⁾、戸屋 亮¹⁾、尾形 貴史¹⁾、仁科 盛之¹⁾、勝見 修一郎²⁾、
鈴木 明彦²⁾

O-35 保存的に加療し得た腸管膜静脈血栓症による虚血性腸炎の1例

由利組合総合病院¹⁾

日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学²⁾

○蘇武 竜太¹⁾、笹森 凌平¹⁾、鈴木 翔¹⁾、草野 央¹⁾、後藤田 卓志²⁾

一般演題

第2会場（2階 リハーサル室）

小腸2 16:06～16:30

座長 珍田 大輔（弘前大学大学院 消化器血液内科学講座）

O-36 十二指腸異所性膵の1例

岩手医科大学医学部 内科学講座 消化器内科消化管分野¹⁾

岩手医科大学医学部 病理学診断学講座²⁾

○川崎 啓祐¹⁾、鳥谷 洋右¹⁾、梁井 俊一¹⁾、永塚 真²⁾、上杉 憲幸²⁾、
赤坂 理三郎¹⁾、朝倉 謙輔¹⁾、大泉 智史¹⁾、山口 智子¹⁾、沢口 勢良¹⁾、
松田 望¹⁾、柴田 將¹⁾、小穴 修平¹⁾、廣田 茂¹⁾、中村 昌太郎¹⁾、
石田 和之²⁾、菅井 有²⁾、松本 主之¹⁾

O-37 小腸鏡で確認できた小腸異所性膵の1例

福島県立医科大学医学部 消化器・リウマチ膠原病内科学講座¹⁾

福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部²⁾

○横川 綾希¹⁾、片倉 響子¹⁾、藤原 達雄¹⁾、郡司 直彦¹⁾、川島 一公¹⁾、
引地 拓人²⁾、大平 弘正¹⁾

O-38 イレウス管からのコカコーラ溶解と内視鏡的処置が奏効した柿胃石による腸閉塞の1例

岩手医科大学 内科学講座 消化器内科 肝臓分野¹⁾

JA 秋田厚生連 かつの厚生病院²⁾

○遠藤 啓¹⁾、鈴木 悠地¹⁾、山本 一成²⁾、石田 弥²⁾、柿坂 啓介¹⁾、
滝川 康裕¹⁾

O-39 保存的治療で軽快した全身性強皮症に伴う小腸間膜穿通の1例

宮城厚生協会 坂総合病院 消化器センター

○真崎 拓也、盛口 佳宏、阿南 陽二、船山 広幸、佐澤 由郎、
伊在井 淳子、大森 崇博、宮本 慶一、高津 有紀子、諸沢 樹、
小熊 信、松田 好郎、小野 翼、黒川 耀貴、佐藤 麻理、平澤 樹

一般演題

第3会場（3階 交流室A）

膵臓1 9:50～10:14

座長 白幡名香雄（山形県立中央病院 消化器内科）

O-40 膵癌との鑑別が困難であったメトトレキサート（MTX）関連リンパ増殖性疾患の一例

山形大学医学部 内科学第二講座¹⁾
山形県立中央病院²⁾

○安藤 嘉章¹⁾、牧野 直彦¹⁾、伊藤 美保²⁾、柿崎 泰明¹⁾、齋藤 吉彦¹⁾、
石澤 哲也¹⁾、小林 敏一¹⁾、上野 義之¹⁾

O-41 経過観察中に粘液癌の形態で微小浸潤を呈した IPMN 由来浸潤癌の1例

仙台市医療センター 仙台オープン病院 消化器内科

○小堺 史郷、越田 真介、伊藤 啓、菅野 良秀、小川 貴央、
楠瀬 寛顕、枡 かおり、酒井 利隆、榎木 喜晴、村林 桃士、
長谷川 翔、野田 裕

O-42 下部胆管に穿破した膵管内乳頭粘液性腺癌（IPMC）の一例

仙台厚生病院 消化器内科

○坪井 瑠美子、奥蘭 徹、福田 遼、川村 恵太、富樫 純一、
友兼 正太郎、田中 一平、岩城 智之、橋本 林太郎、二瓶 公佑、
今村 仁、山岡 肇、松田 知己、中堀 昌人、長南 明道

O-43 IPMN 併存癌切除 49 例の臨床像—IPMN 由来浸潤癌切除例との比較検討—

仙台市医療センター 仙台オープン病院 消化器内科

○越田 真介、野田 裕、伊藤 啓、菅野 良秀、小川 貴央、枡 かおり、
榎木 喜晴、楠瀬 寛顕、酒井 利隆、村林 桃士、長谷川 翔、
小堺 史郷

一般演題

第3会場 (3階 交流室 A)

膵臓 2 10:14~10:44

座長 竹下 明子 (公立置賜総合病院 外科)

O-44 仮性嚢胞出血を隣接合併した膵粘液性嚢胞腫瘍 (MCN) の1例

東北大学 消化器外科¹⁾

東北大学 消化器内科²⁾

○客本 ゆき恵¹⁾、水間 正道¹⁾、石田 晶玄¹⁾、橘 知陸¹⁾、高舘 達之¹⁾、
前田 晋平¹⁾、有明 恭平¹⁾、益田 邦洋¹⁾、深瀬 耕二¹⁾、大塚 英郎¹⁾、
坂田 直昭¹⁾、森川 孝則¹⁾、中川 圭¹⁾、林 洋毅¹⁾、元井 冬彦¹⁾、
内藤 剛¹⁾、菅野 敦²⁾、下瀬川 徹²⁾、海野 倫明¹⁾

O-45 Stage4 膵癌で9年生存している1例

山形大学医学部 外科学第一講座

○高橋 良輔、平井 一郎、菅原 秀一郎、渡邊 利広、手塚 康二、
木村 理

O-46 多発肝転移を来した非機能性膵神経内分泌腫瘍 (P-NET G2) の1例

岩手医科大学医学部 内科学講座 消化器内科 消化管分野

○柴田 将、松田 望、田村 明生、小穴 修平、石田 和之、菅井 有、
松本 主之

O-47 主膵管内進展を伴う膵神経内分泌腫瘍の1例

山形県立中央病院 外科¹⁾

山形県立中央病院 消化器内科²⁾

山形県立中央病院 病理診断科³⁾

○齋藤 達¹⁾、盛 直生¹⁾、山賀 亮介¹⁾、平田 雄大¹⁾、菅原 心平²⁾、
安藤 嘉章²⁾、緒形 真也³⁾、白幡 名香雄²⁾、櫻井 直樹¹⁾、飯澤 肇¹⁾

O-48 腹腔動脈起始部狭窄を有する膵癌症例に対し事前に腹腔鏡下に正中弓状靱帯を切離することで通常の膵頭十二指腸切除を施行し得た1例

秋田大学医学部 消化器外科

○飯田 正毅、吉岡 政人、中川 康彦、渡辺 翼、打波 宇、
山本 雄造

一般演題

第3会場 (3階 交流室 A)

膵臓 3 10:44~11:14

座長 菅野 敦 (東北大学 消化器内科)

O-49 膵石嵌頓による急性閉塞性化膿性胆管炎を呈した若年性慢性膵炎の1例

国立病院機構 仙台医療センター 消化器内科¹⁾
東北大学病院 消化器内科²⁾

○外田 修裕¹⁾、木村 憲治¹⁾、滝川 哲也¹⁾、半田 智之¹⁾、是川 海¹⁾、
鶴飼 克明¹⁾、田所 慶一¹⁾、正宗 淳²⁾

O-50 ESWL を施行した膵石を伴う慢性膵炎 10 例の検討

会津中央病院 消化器科

○新井田 憩、岩尾 年康、多田 大和、吉野 武晃

O-51 1 型自己免疫性膵炎におけるステロイドパルス療法の有用性

福島県立医科大学 医学部 消化器・リウマチ膠原病内科学講座¹⁾

福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部²⁾

福島県立医科大学 消化器内視鏡先端医療支援講座³⁾

○杉本 充¹⁾、高木 忠之¹⁾、鈴木 玲¹⁾、紺野 直紀^{1,2)}、浅間 宏之¹⁾、
渡辺 晃^{1,2)}、中村 純^{1,2)}、菊地 眸^{1,2)}、藁谷 雄一¹⁾、高住 美香¹⁾、
引地 拓人²⁾、小原 勝敏³⁾、大平 弘正¹⁾

O-52 IgG4 関連自己免疫性膵炎に対するステロイド治療中に間質性肺炎を合併した 1 例

市立秋田総合病院 消化器内科

○深谷 浩史、石井 元、伊藤 満衣、渡邊 健太、大野 秀雄、
津田 聡子、辻 剛俊、千葉 満郎、中根 邦夫、小松 眞史

O-53 重症急性膵炎に対する蛋白分解酵素阻害薬膵局所動注療法の有効性と安全性に関する多施設共同ランダム化比較試験 (医師主導治験)

東北大学病院 消化器内科¹⁾

東北メディカルメガバンク機構²⁾

東北大学病院 臨床研究推進センター³⁾

東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野⁴⁾

○廣田 衛久¹⁾、三浦 晋²⁾、萱場 千恵³⁾、梅津 亮牙³⁾、佐藤 昌美³⁾、
池田 浩治³⁾、下瀬川 徹⁴⁾

一般演題

第3会場（3階 交流室A）

肝臓3 14:30～14:54

座長 打波 宇（秋田大学大学院医学系研究科 消化器外科学講座）

O-54 肝 reactive lymphoid hyperplasia の1例

岩手県立中央病院 消化器科¹⁾

岩手県立中央病院 内視鏡科²⁾

○高橋 隆弘¹⁾、城戸治 治¹⁾、佐藤 利紀¹⁾、本多 俊介¹⁾、高橋 太郎¹⁾、
伏谷 淳¹⁾、渡邊 崇¹⁾、小坂 崇²⁾、天野 良彦²⁾、赤坂 威一郎²⁾、
池端 敦¹⁾

O-55 AIDS 患者に認められた肝腫瘍の一例

福島県立医科大学医学部 消化器・リウマチ膠原病内科

○小橋 亮一郎、岡井 研、藤田 将史、今泉 博道、林 学、阿部 和道、
高橋 敦史、大平 弘正

O-56 多発性肝細胞癌再発に対してソラフェニブが著効した1例

山形大学医学部 内科学第二講座

○奥本 和夫、仁科 武人、水野 恵、勝見 智大、芳賀 弘明、
齋藤 貴史、上野 義之

O-57 肝動脈化学塞栓療法後に急激に顕在化したネフローゼ症候群を併発した肝細胞癌の一例

青森県立中央病院 消化器内科¹⁾

弘前大学医学部 消化器血液内科学講座²⁾

○佐藤 理子¹⁾、蓮井 桂介^{1,2)}、村井 康久²⁾、五十嵐 昌平^{1,2)}、
島谷 孝司^{1,2)}、花畑 憲洋^{1,2)}、金澤 浩介¹⁾、沼尾 宏¹⁾、棟方 正樹¹⁾、
福田 眞作²⁾

一般演題

第3会場（3階 交流室A）

腹膜・その他 14:54～15:30

座長 磯部 秀樹（山形済生病院 外科）

O-58 術後9年目で肝転移をきたした後腹膜原発傍神経節腫の1例

仙台厚生病院 消化器内科¹⁾

仙台厚生病院 病理診断科²⁾

○富樫 純一¹⁾、奥園 徹¹⁾、山岡 肇¹⁾、松田 知己¹⁾、中堀 昌人¹⁾、
赤平 純一²⁾、長南 明道¹⁾

O-59 腹腔鏡が診断に有用であった結核性腹膜炎の1例

公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院

○本田 悌一郎、斎藤 伸一

O-60 腹水貯留を契機に発見された横行結腸癌に対して腹腔鏡下手術を行い結核性腹膜炎の診断となった一例

東北大学大学院 消化器外科学

○佐藤 正規、井本 博文、武者 宏昭、田中 直樹、青木 豪、
工藤 克昌、阿部 友哉、大沼 忍、長尾 宗紀、渡辺 和宏、
唐澤 秀明、土屋 堯裕、元井 冬彦、内藤 剛、海野 倫明

O-61 腹腔鏡下生検にて診断し得た悪性腹膜中皮腫の一例

山形県立中央病院 消化器内科¹⁾

山形県立中央病院 外科²⁾

○川越 圭¹⁾、白幡 名香雄¹⁾、榎本 愛実¹⁾、佐藤 裕人¹⁾、竹内 章夫¹⁾、
堺 貴之¹⁾、渡辺 舞¹⁾、菅原 心平¹⁾、伊藤 美保¹⁾、藤嶋 昌一郎¹⁾、
鈴木 克典¹⁾、武田 弘明¹⁾、盛 直生²⁾、飯澤 肇²⁾

O-62 巨大肝腫瘍として当院に紹介された大動脈解離に伴う巨大腹腔内血腫の1例

大曲厚生医療センター 消化器科¹⁾

大曲厚生医療センター 外科²⁾

○鶴岡 未央¹⁾、沖口 将夫¹⁾、堀井 亨¹⁾、三浦 雅人¹⁾、小野 文徳²⁾

O-63 巨大な腹腔内デスマイド腫瘍の1例

公立置賜総合病院 外科

○野川 亮介、竹下 明子、小澤 孝一郎、水谷 雅臣、東 敬之、
森谷 敏幸、間瀬 健次、横山 森良、小野寺 雄二、高木 慎也、
薄場 修

一般演題

第3会場 (3階 交流室 A)

大腸1 15:30~15:54

座長 池端 敦 (岩手県立中央病院 消化器内科)

O-64 ステロイド非投与下でサイトメガロウイルス腸炎を合併した潰瘍性大腸炎の1例

東北大学病院大学院 消化器病態学分野

○泉山 泰宏、平本 圭一郎、市川 遼、岡本 大祐、中野 健、松本 信、
永井 博、千葉 宏文、横山 直信、山本 勝利、下山 雄丞、
内藤 健夫、小野寺 基之、日下 順、黒羽 正剛、金澤 義文、
木村 智哉、角田 洋一、遠藤 克也、木内 喜孝、下瀬川 徹

O-65 潰瘍性大腸炎の活動期に下腸間膜静脈血栓症を合併した一例

福島労災病院 消化器科

○入江 大樹、市井 統、大久保 義徳、小屋 有代、喜田 栄作、
松橋 暢生、田井 真弓、鈴木 智浩、江尻 豊

O-66 ニボルマブ投与後に発症した潰瘍性大腸炎類似の大腸炎の一例

岩手医科大学医学部 内科学講座 消化器内科 消化管分野¹⁾

岩手医科大学医学部 病理診断学講座²⁾

岩手医科大学 皮膚学講座³⁾

○梁井 俊一¹⁾、川崎 啓祐¹⁾、中村 昌太郎¹⁾、赤坂 理三郎¹⁾、
鳥谷 洋右¹⁾、大泉 智史¹⁾、沢口 勢良¹⁾、山口 智子¹⁾、石田 和之²⁾、
大西 正純³⁾、菅井 有²⁾、松本 主之¹⁾

O-67 経カテーテル動脈塞栓術が有効であった回結腸動脈の仮性動脈瘤破裂による消化管出血の1例

弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座¹⁾

弘前大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾

○澤田 洋平¹⁾、澤谷 マナブ¹⁾、三上 達也²⁾、木村 昌代¹⁾、中川 悟¹⁾、
千葉 大輔¹⁾、菊池 英純¹⁾、平賀 寛人¹⁾、珍田 大輔¹⁾、櫻庭 裕丈¹⁾、
下山 克¹⁾、福田 眞作¹⁾

一般演題

第3会場（3階 交流室A）

大腸2 15:54～16:24

座長 矢野 充泰（山形大学医学部 外科学第一講座）

O-68 膿瘍を形成し胃壁に穿通した横行結腸癌の1例

秋田厚生医療センター

○岩村 庄吾、俵谷 伸、宮部 賢、吉田 樹、小板橋 祐也、渋谷 健吾、
大高 日本、小林 芳生、津田 栄彦、藤井 公生、星野 孝男、
渡部 博之

O-69 腹腔鏡補助下直腸低位前方切除術を施行した腸回転異常症を伴う直腸癌の1例

山形大学医学部 第1外科

○外田 慎、矢野 充泰、佐藤 多未笑、山岸 岳人、福元 剛、
高須 直樹、蜂谷 修、木村 理

O-70 CT colonography を施行した転移性大腸癌の2例

国立病院機構 仙台医療センター 消化器内科¹⁾

国立病院機構 仙台医療センター 外科²⁾

国立病院機構 仙台医療センター 病理診断科³⁾

○押切 みすず¹⁾、杉村 美華子¹⁾、岩渕 正広¹⁾、野口 謙治¹⁾、
鵜飼 克明¹⁾、手島 伸²⁾、武田 和憲²⁾、齋藤 俊博²⁾、櫻田 潤子³⁾、
鈴木 博義³⁾、田所 慶一¹⁾

O-71 術前加療を施行しない括約筋間直腸切除術（ISR）施行例の臨床病理学的検討

山形県立中央病院 外科

○須藤 剛

O-72 進行大腸癌の前向き検討による BRAF 変異陽性癌の特徴

秋田赤十字病院 消化器病センター¹⁾

岩手医科大学医学部 病理診断学講座²⁾

札幌医科大学医学部 分子生物学講座³⁾

○原田 英嗣¹⁾、山野 泰穂¹⁾、松下 弘雄¹⁾、吉川 健二郎¹⁾、高木 亮¹⁾、
田中 義人¹⁾、中岡 宙子¹⁾、吉田 優子¹⁾、津田 一範¹⁾、菅井 有²⁾、
永塚 真²⁾、山本 英一郎³⁾、鈴木 拓³⁾

一般演題

第3会場（3階 交流室A）

大腸3 16:24～16:48

座長 名木野 匡（山形市立病院済生館 消化器内科）

O-73 巨大結腸を合併した大腸炎の1例

岩手医科大学医学部 内科学講座 消化器内科消化管分野¹⁾

岩手医科大学医学部 病理学診断学講座²⁾

○大泉 智史¹⁾、川崎 啓祐¹⁾、朝倉 謙輔¹⁾、永塚 真²⁾、梁井 俊一¹⁾、
赤坂 理三郎¹⁾、鳥谷 洋右¹⁾、山口 智子¹⁾、沢口 勢良¹⁾、松田 望¹⁾、
柴田 将¹⁾、小穴 修平¹⁾、廣田 茂¹⁾、上杉 憲幸²⁾、石田 和之²⁾、
中村 昌太郎¹⁾、菅井 有²⁾、松本 主之¹⁾

O-74 心筋梗塞を合併し急性の経過をたどった大腸癌に伴う血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の1剖検例

太田西ノ内病院 消化器内科¹⁾

太田西ノ内病院 循環器内科²⁾

太田西ノ内病院 病理診断科³⁾

○中島 勇貴¹⁾、小橋 亮一郎¹⁾、橋本 健明¹⁾、今村 秀道¹⁾、金澤 晃子²⁾、
小田島 肇³⁾、迎 慎二¹⁾

O-75 当院における Hyperplastic / serrated polyposis syndrome の検討

秋田赤十字病院 消化器病センター¹⁾

岩手医科大学 病理診断学講座²⁾

札幌医科大学 分子生物学講座³⁾

○吉田 優子¹⁾、山野 泰穂¹⁾、松下 弘雄¹⁾、吉川 健二郎¹⁾、原田 英嗣¹⁾、
高木 亮¹⁾、田中 義人¹⁾、中岡 宙子¹⁾、津田 一範¹⁾、菅井 有²⁾、
永塚 真²⁾、山本 英一郎³⁾、青木 敬則³⁾、鈴木 拓³⁾

O-76 大腸ポリペクトミー患者の過去における内視鏡履歴

青森労災病院 消化器内科内視鏡科¹⁾

弘前市立病院 臨床検査科²⁾

弘前大学 消化器血液内科³⁾

○木村 聖路¹⁾、西谷 大輔¹⁾、濱館 貴徳¹⁾、石橋 文香^{1,3)}、樋口 博之^{1,3)}、
田中 正則²⁾、福田 眞作³⁾

会長講演

第 1 会場（3 階 アプローチ） 11:30～11:45

「消化器病学とともに 歩んできた道」

[司 会]

大平 弘正

福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座

[演 者]

木村 理

山形大学医学部 外科学第一講座

特別講演

第 1 会場（3 階 アプローチ） 13:30～14:20

「LECS の適応と限界」

[司 会]

木村 理

山形大学医学部 外科学第一講座

[講 師]

比企 直樹

がん研有明病院 消化器センター 胃外科

日本消化器病学会 東北支部第201回例会
特別講演

LECSの適応と限界

■ 司会

木村 理 先生

山形大学医学部
外科学第一講座（消化器・乳腺甲状腺・一般外科学）
主任教授

■ 演者

比企 直樹 先生

がん研有明病院
消化器センター消化器外科 胃外科部長

■ 日時

2016年

7月8日（金）

13:30 ～ 14:20

■ 会場

第1会場「アプローチ」

山形テルサ 3F

共催

日本消化器病学会 東北支部第201回例会
コヴィディエン ジャパン株式会社

Medtronic

ランチョンセミナー 1

第 1 会場 (3 階 アプローチ) 12:30~13:20

「大腸がん薬物療法の 最新の治療戦略」

[司 会]

遠藤 俊吾

福島県立医科大学会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

[演 者]

高橋 雅信

東北大学病院 腫瘍内科



日本消化器病学会東北支部第201回例会
ランチョンセミナー1

大腸がん薬物療法の 最新の治療戦略

日時

2016年7月8日(金) 12:30~13:20

会場

第1会場(山形テルサ 3階アプローチ)

〒990-0828 山形県山形市双葉町 1 丁目 2-3

座長

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター
小腸・大腸・肛門科学講座 教授

遠藤 俊吾 先生

演者

東北大学病院 腫瘍内科 講師

高橋 雅信 先生

共催：日本消化器病学会東北支部第201回例会
大鵬薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 2

第2会場（2階 リハーサル室）12：30～13：20

「消化器領域の低侵襲手術 —新しいデバイスの有用性—」

[司 会]

武藤 淳

福島労災病院 外科

[演 者]

藤本 博人

山形済生病院 外科・乳腺外科

外舘 幸敏

総合南東北病院 外科

日本消化器病学会東北支部第201回例会
ランチョンセミナー

2016 [FRI]
7 / 8
12:30 - 13:20
山形テルサ
〒990-0828 山形市双葉町1-2-3

消化器領域の低侵襲手術 —新しいデバイスの有用性—

司 会

武藤 淳 先生

福島労災病院 外科

演 者

藤本 博人 先生

山形済生病院 外科・乳腺外科

外舘 幸敏 先生

総合南東北病院 外科

ETHICON
PART OF THE *Johnson & Johnson* FAMILY OF COMPANIES

共催：
日本消化器病学会東北支部第201回例会
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

©J&J KK 2016

シンポジウム

「消化管疾患における 内科と外科のコラボレーション」

[司 会]

引地 拓人

福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部

野村 尚

山形県立中央病院 外科

特別企画 1

「目指せ！消化器病専門医 —初期研修医からの報告」

[司 会]

大平 弘正

福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座

上野 義之

山形大学医学部 内科学第二講座

[審査員]

三上 達也

弘前大学医学部附属病院 光学医療診療部

宮澤 秀彰

秋田赤十字病院 消化器外科

遠藤 龍人

岩手医科大学 消化器内科 肝臓分野

内藤 剛

東北大学 生体調節外科

特別企画 2

「目指せ！ 消化器病専門医 —後期研修医からの報告」

[司 会]

福田 眞作

弘前大学大学院 消化器血液内科学講座

海野 倫明

東北大学大学院 消化器外科学分野

[審査員]

松橋 保

秋田大学 消化器内科

新田 浩幸

岩手医科大学 外科

牧野 直彦

山形大学医学部 内科学第二講座

大木 進司

福島県立医科大学 器官制御外科学講座